

友好交流都市

新潟県 津南町展

—火焔土器と雪のまち—



講演会

演題 『津南町の歴史と風土』

日時 平成11年4月18日(日)
午後1時30分～3時30分

場所 狹山市立博物館 研修・講義室

火焔形土器
(国保有出土文化財)

平成11年3月20日(土)～5月9日(日)



狹山市立博物館

R40

古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

— 開催にあたって —

狹山市における都市交流事業については、国際的には姉妹都市として大韓民国慶尚南道統營市、友好交流都市として中華人民共和国浙江省杭州市と親善を深めており、国内では友好交流都市として新潟県中魚沼郡津南町と交流をつづけているところです。

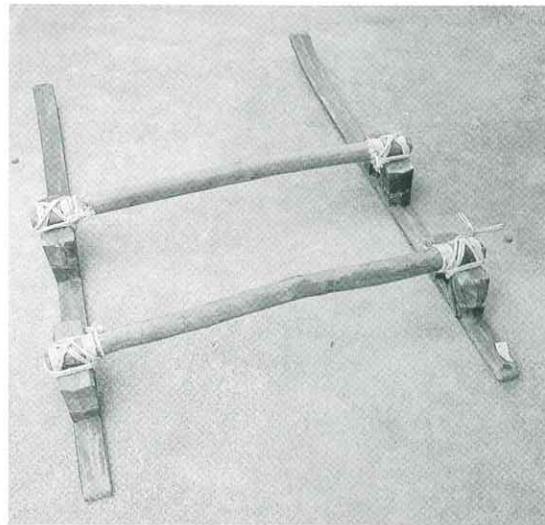
今回は、平成9年1月より友好関係にある新潟県津南町を紹介し、特に「火焰土器と雪のまち」と題しまして、国際的にも歴史的美術的にも評価の高い火焰土器とその関連資料、本州中部屈指の豪雪地帯に伝わった民俗資料などを取り上げ、その歴史・文化・風土を展望します。また、語り尽くせない現在の津南町の魅力を、写真パネルを中心に余すところなくご覧いただきたいと思います。

関越道・圏央道などの交通アクセスにより、狹山市を始め首都圏から身近なところとなり、四季折々の自然が楽しめる新潟県津南町。本企画展を機に奥信越への探訪に夢はせていただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、数多くの保有指定文化財の展示にご快諾いただきました津南町の関係諸機関、並びにご協力いただきました皆様に厚く感謝申し上げ、開催のごあいさつといたします。

平成11年3月

狹山市立博物館

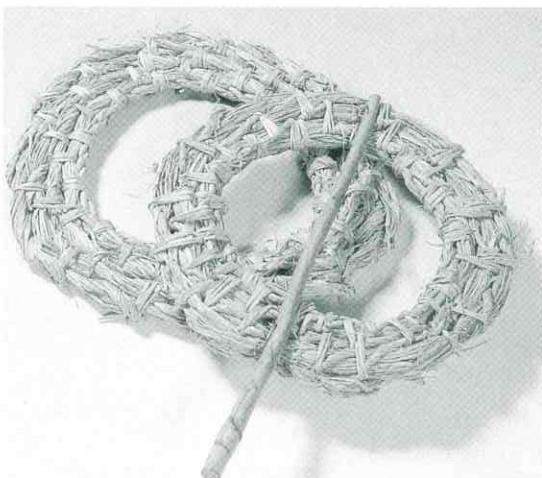


ヤマギリ（国指定重要有形民俗文化財）

講 演 会

演題 『津南町の歴史と風土』
日時 平成11年4月18日(日)
午後1時30分～3時30分
場所 狹山市立博物館 研修・講義室
講師 津南町文化財調査審議会委員長 滝沢 秀一氏

●受講希望の方は、3月17日(水)から狹山市立博物館へ電話でお申し込み下さい。(定員50名)



ワダラ（国指定重要有形民俗文化財）

◆開館時間 午前9時～午後5時

◆休館日 3/23(火)、3/26(金)、3/29(月)、
4/5(月)、4/12(月)、4/19(月)、4/23(金)、
4/26(月)、4/30(金)、5/6(木)

◆入場料 一般 150円(100円)
高校生・大学生 100円(60円)
小学生・中学生 50円(30円)

※()内は20名以上の団体



- 西武池袋線「稻荷山公園駅」から徒歩3分
- 西武新宿線「狭山市駅」西口からバス(稻荷山公園駅行)終点徒歩3分
- 圏央道狭山日高インターチェンジより15分(5km)



狹山市立博物館

〒350-1324

埼玉県狹山市稻荷山1-23-1 稲荷山公園(ハイドパーク)内
TEL. 042-955-3804 FAX. 042-955-3811

友好交流都市

新潟県 津南町展

—火焔土器と雪のまち—



火焔形土器
(国保有出土文化財)

平成11年3月20日(土)~5月9日(日)



狭山市立博物館

R40

古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

開催にあたって

このたび、平成9年1月から友好交流都市として交流を深めております、新潟県津南町を紹介できることは、誠に喜びにたえません。

狹山市は、国の内外を問わず都市交流事業を進めおりますが、特に今回は、国際的にも評価の高い火焔土器、本州中部屈指の豪雪地帯に伝わった民俗資料と、津南町の魅力を余すところなくご覧いただくため、津南町の協力をいただいて春期企画展を企画いたしました。

津南町は、関越道・圏央道などの交通アクセスにより、首都圏からも身近で、四季折々の自然が楽しめ、悠久の河岸段丘の町として全国的に有名です。

皆様におかれましては、この企画展を通じて津南町についての素晴らしさを知る絶好の機会であり、訪問の契機としていただければ誠に幸いです。

結びに、本企画展の開催にあたり、数多くの貴重な指定文化財の展示にご快諾いただきました津南町の関係機関を始め、ご協力をいただきました皆様に厚く感謝とお礼を申し上げます。

平成11年3月

狹山市長 町田潤一

参考文献

『津南』町制施行40周年記念津南町町勢要覧 津南町 1995
『津南』パンフレット 津南町観光協会
『秋山郷』パンフレット 津南町観光協会
『津南町史』(全4巻)津南町史編さん委員会編 津南町 1985
その他、津南町教育委員会編『津南町文化財調査報告』

『新潟県の歴史』井上鏡夫著 山川出版社 1993
『特別展「火炎土器」図録』大田区立郷土博物館 1995
『縄文 いのりとうたげ』北橋村教育委員会・
北橋村歴史民俗資料館 1998

『北越雪譜』鈴木牧之編撰 岡田武松校訂
岩波書店(岩波文庫) 1978
『秋山記行・夜職草』鈴木牧之著 宮栄二校注
平凡社(東洋文庫) 1971

付 記

- ・このパンフレットは、平成11年3月20日から5月9日まで開催する平成10年度春期企画展「友好交流都市 新潟県津南町展—火焔土器と雪のまち—」のパンフレットである。
- ・会期中の展示替え等により、パンフレット収録資料(展示資料一覧)の資料でも展示していない場合がある。
- ・展示資料中特に記載のないものについては、すべて津南町教育委員会所蔵のものである。

開催にあたって

狹山市の皆様こんにちは。狹山市と津南町は友好交流都市として暖かく交流いただいており、この度は狹山市立博物館において『津南町展』を開催いただくことになりました。狹山市の皆様に深く感謝申し上げます。

津南町は新潟県の最南端にあって長野県に境を接し、日本一の長河信濃川とその支流に沿って、これまた日本一の河岸段丘によって形成された自然豊かな美しい町です。今回の企画展では、この信濃川流域に特徴的な火焔土器の縄文文化や、深い雪に育まれた雪国文化の一端が紹介されますので、ぜひご来観いただきたいと存じます。

平成11年3月

津南町長 小林三喜男



津南町の四季

新潟県津南町の概要

新潟県中魚沼郡津南町は、新潟県の最南端に位置し、長野県の県境に接しています。地形は、町の北部を西から東に流れる信濃川本流と、南から北へそそぐ支流の志久見川、中津川、清津川により階段状に発達した河岸段丘によって形成されています。南には上信越高原国立公園として指定されている苗場山(2,145m)を中心としたブナ・トチの原生林が広がり、その端部では地下水がわきだしています。なかでも湧水「竜ヶ窪」は満々と水量をたたえ、名水百選にも指定されています。また、新潟県下でも最大の豪雪地帯で、11月から4月にかけて2.5mから3mもの積雪に見舞われ、町全体が白く覆われることとなります。

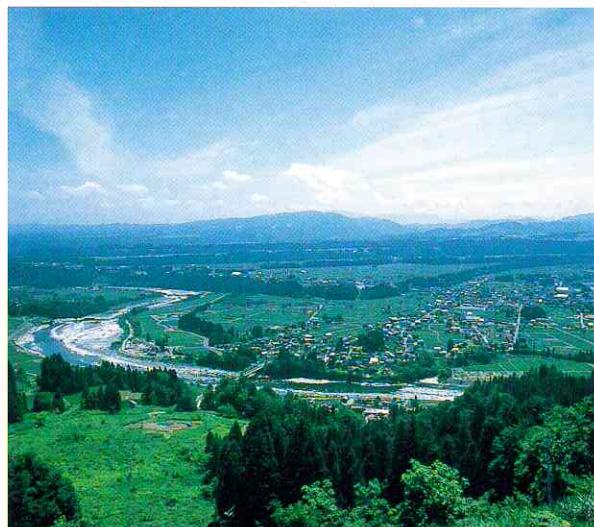
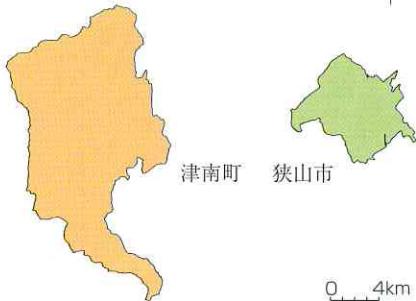
昭和30年1月1日、外丸・上郷・芦ヶ崎・秋成・中深見・下船渡の六ヶ村が合併して津南町が誕生しました。その後昭和31年に津南町田代と宮里村米原の境界変更をへて現在に至っています。

なお、狭山市との交流については、平成7年11月に「狭山市姉妹都市検討委員会」から新潟県中魚沼郡津南町を国内友好都市候補地とする報告書が狭山市長に提出され、津南町が四季折々の自然に恵まれ、竜ヶ窪をはじめとする湧水や温泉などその恵みを得ていること、交通アクセスが狭山市から車で3時間以内で到着できること、スキー大会など市民交流が図られており「第二のふるさと」としての要素を備えていることなどから、平成9年1月30日「友好交流都市宣言」調印が取り交わされました。現在では、さやま大茶会における名水の提供、大規模災害時における相互応援協定の締結など、市町民の交流と行政協力をを行っているところです。

津南町の位置



津南町と狭山市の面積比較



河岸段丘 夏



竜ヶ窪

火焰土器の世界

ここでは、津南町の歴史の中で代表的な時代である縄文時代にスポットをあて、全国的にみても地域性の高い資料として知られている縄文時代中期の土器である^{かえん}火^か焰^{えん}土器を中心に、旧石器時代・縄文時代・弥生時代と連綿とつづく津南のようすを見ていきたいと思います。

津南町は、埋蔵文化財の宝庫として昭和20年代より研究機関による発掘が行われ、学術的にも大きな成果が挙げられている地域です。特に遺跡や遺物の時代を推定する編年指標として、旧石器時代の^{かみやま}神山式石器、縄文時代早期の卯ノ木式土器などの指標遺跡があることで知られています。近年、大規模な場整備事業に伴い多くの遺跡が発掘されました。この成果により現在では、旧石器時代では約3万年ほど前から弥生時代後期まで、連綿とこの地域に人々が生活していたことがわかつきました。なかでも大規模集落が営まれていた時期が、火^か焰^{えん}土器を有する縄文時代中期であったと考えられています。

火^か焰^{えん}土器は、昭和11年に新潟県長岡市^{ながおか}馬高遺跡^{うまなか}から出土した縄文中期の土器が、燃え上がる火のような形をしていたことから名付けられたものです。縄文土器特有の縄目の文様ではなく、粘土のひもで付けられた隆線文が土器全体に施されています。この土器が出土する地域は、信濃川支流域の丘陵地帯を中心となり大集落を伴って出土していますが、新潟県内でもこの周辺部以外ではあまり確認されておらず、県外でも新潟県境に隣接したところのみ点在することから、地域的



道尻手遺跡出土 火焰形土器



道尻手遺跡出土 王冠形土器

特色を持った縄文土器であることがわかります。

現在の研究では、おおまかに鶏のとさかのような口縁部をもつ「火焔形土器」、山形の口縁部をもつ「王冠形土器」、東北地方南部や北陸地方の影響を受けた「他地域の様式を継承している土器」などに分類することができます。



どうだいら
堂平遺跡出土 王冠形土器 国保有出土文化財

雪のまちの生活

津南町は春夏秋冬の季節感あふれる町ですが、狭山市周辺で体験できない時期といえば、やはり冬の世界でしょう。この地域は新潟県下でも最大の豪雪地帯で、11月から4月にかけて2.5mから3mもの積雪に見舞われ、町全体が白く覆われることとなります。隣接する長野県下水内郡栄村で



アンギン(編布・編衣)国指定重要有形民俗文化財

アンギン(編布・編衣)は、タテ糸とヨコ糸を米俵の編み方で編み上げるもの。現在では縄文時代前期から伝承された技術であるといわれ、中世では一遍が開いた時宗の僧侶が法衣として着ていたことが知られています。材料としては、タテ糸は強さが必要なのでカラムシ・イラクサなどを使い、ヨコ糸には量が必要なのでアカソをよく使います。アンギンには、上衣(アンギン)、前当て(アンギンマエアテ)、帯(バトオビ)があります。なお、秋山郷ではアンギンにつぐ技術として、いざり機とそれに関連した用具が保存されています。

は、昭和20年2月に津南町境にあたるJR飯山線森宮野原駅で7.85mの積雪記録が残っています。

このような環境の中で使用された生活民具にはさまざまな生活の知恵が込められ、現在でもその英知には目を見張るものがあります。特に津南町では、「秋山郷及び周辺地域の山村生産用具」1686点が収集され、国指定の重要有形民俗文化財となっています。この中から一部を展示し、昔から脈々と受け継がれてきた「雪のまち津南」の生活を見ていきたいと思います。

秋山郷は、津南町と栄村にまたがる山間部で、東に苗場山（標高2,145m）、西に鳥甲山（標高2,038m）にはさまれた地域です。野反湖に端を発した中津川が流れる谷あいに点在する12の集落を総称したものです。遠くは『北越雪譜』を著した文人鈴木牧之が『秋山記行』という紀行文で「庵をあんで命の洗濯をしたい」と語り、近くは吉川英治が『新平家物語』の構想を練った地でもあります。平家の落人や新田氏の残党が移り住んだ所との伝承も伝わっています。

ウサギを捕らえる時使う道具。秋から春にかけての狩猟の時期に、ウサギは静かに忍んで捕まえます。ワダラをウサギの巣の上空に投げると、ウサギがトビやタカなどの猛禽類の羽音と聞き取り、巣穴の奥にもぐり込むので、それを手捕りにします。



ワダラ 国指定重要有形民俗文化財



ヤマヅリ 国指定重要有形民俗文化財

津南町は、苗場山麓をはじめとして広がるブナ・トチの原生林から材木を切り出し、夏場ではたいへんな労力を必要としたため、冬場にヤマヅリに乗せ雪の上をすべらせて運びました。ブナ材は建築用材としてはもちろんのこと、杓子・コオツキ(コスキ)・フネなど木地用具の材料として利用されました。

写真でみる現在の津南町

津南町は、四季折々の季節感あふれるまちです。木々の色、水の流れ、山河風景、温泉湯治。ここでは、現在の津南町を写真を中心紹介します。

雪のない時期の津南町を高いところから見下ろすと、そこには信濃川とその流れによって形成された雄大な河岸段丘を見る事ができます。特に標高250mから1,100mにかけて展開している段丘は広大な水田地帯で、周囲の自然が生み出す緑と調和しています。

この地域は苗場山麓地域と呼ばれ、大正時代より開発が進められてきましたが、昭和43年より国営総合農地開発事業として着手され、生産性の高い農地として整備されました。その成果は魚沼産コシヒカリの主生産地のひとつである事からも理解することができます。

また、津南町は自然環境と地域資源に恵まれていることから、観光事業開発を進めており、総合保養地域整備法やマイライフ・リゾート新潟構想などに基づく保養地整備を推進しています。(株)マウンテンパーク津南、(財)津南地域活性化センターなど第三セクターを中心とした観光事業は、施設設備はもちろん「津南」を満喫できる時間と場所を提供しています。

関越道・圏央道などの交通アクセスも充実し、狭山市を始め首都圏から身近なところとなった津南町は、21世紀に向けて新たな発展をめざしているところです。



重い穂をつけたコシヒカリ



マウンテンパーク津南

友好交流都市新潟県津南町展 展示資料一覧

考古資料

時 期・出 土 地	資 料 名	備 考
旧石器時代		
正面ケ原D遺跡出土	局部磨製石斧	
正面ケ原D遺跡出土	初期ナイフ形石器	
神山遺跡出土	石器	津南町指定文化財 石器編年指標遺跡
道下遺跡出土	石器	
下モ原I遺跡出土	石器	
下モ原I遺跡出土	彫器接合資料	居尻A遺跡出土も含む
正面中島遺跡出土	細石刃	
正面中島遺跡出土	石器	
寺田上A遺跡出土	石器	
縄文時代		
〈草創期〉		
卯ノ木南遺跡出土	押圧縄文土器	
卯ノ木南遺跡出土	石器	
〈早期〉		
大原遺跡出土	撚糸文土器 破片	
大原遺跡出土	石器	
卯ノ木遺跡出土	押形文土器	土器編年指標遺跡
樽田遺跡出土	押形文土器	津南町指定文化財
〈前期〉		
寺田上A遺跡出土	土器 破片	
神山遺跡出土	花積下層式土器	津南町指定文化財
下モ原II遺跡出土	諸磯c式土器	
〈中期〉		
城林遺跡出土	土器群	
上野遺跡出土	中空土偶	津南町指定文化財
堂平遺跡出土	火焰形土器	国保有出土文化財
堂平遺跡出土	王冠形土器	国保有出土文化財
堂平遺跡出土	土器群	
道尻手遺跡出土	土器群	
道尻手遺跡出土	土製品	
沖ノ原遺跡出土	火焰形土器	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	土器群	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	クッキー状炭化物	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	炭化物(クリの実)	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	土偶	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	土製品	新潟県指定文化財
沖ノ原遺跡出土	石製品	新潟県指定文化財
堂尻遺跡出土	土器群	
〈後期〉		
正面ケ原A遺跡出土	土器群	
下モ原III遺跡出土	土器群	
八反田遺跡出土	土器群	
〈晚期〉		
正面ケ原A遺跡出土	土器群	
正面ケ原A遺跡出土	石製品	
正面ケ原A遺跡出土	炭化物(トチ)	
正面ケ原A遺跡出土	骨片(クジラ)	
弥生時代		
〈後期〉		
朴ノ木坂遺跡出土	土器群	
堰下遺跡出土	土器群	
堰下遺跡出土	紡錘車	
奈良・平安時代		
相吉遺跡出土	壺 土師器 内黒土器	
中 世		
仲田遺跡出土	甕 珠洲焼	(個人蔵)
戦国時代		
陣場経塚出土	経筒	津南町指定文化財
陣場経塚出土	経文	津南町指定文化財

民俗資料

資 料 名	備 考
秋山郷及び周辺地域の山村生産用具(国指定重要有形民俗文化財) 1686点の内	モシリ ミソコシ ワダラ トラバサミ ヒッカケ フネ テゴ ハシゴセナコウジ スカリ コオツキ コスキノコマ バトオビオリ アンギン バトオビ アンギンアミ シントリゴツキ カンジキ ヨリソ ツエゴツキ シオブネ ヤマギモン オ ミズブネ スッポン クソズッポン セナゴウシ アンギンマエアテ ボウシ サケカギ ヤマガサ セナゴウシ ヒゴモ ガマハバキ アンギンコモヅチ アカソのセンイ ワラハバキ ケズリダイ ワラゲツ メスダレ ヤマゾリ タイマツ ミノ ケミノ ツグラ カキアミ ツヅ ハツツアカ クモデ
その他の民俗資料	アンギン ツグラユスリ モモシキ

注 1. 考古資料については個別資料の点数が多いことから、本表では特徴的なものを除いて一括の出土資料として表記し、点数についても省略した。

例、石器：土器群：土製品：石製品 など

2. 民俗資料についても同様に点数について省略した。